

助産管理学

ナンバリング:N4-S2-L11

責任者・コーディネーター	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授		
担当講座・学科(分野)	成育看護学講座		
対象学年	4	区分/単位数	講義/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

助産業務における管理の基本理念を踏まえ、妊産婦と家族を中心とした助産ケアが提供されるための管理のあり方を学ぶ。また、助産所、病院、診療所の各現場における管理の実際についても学び、それぞれの特徴や課題を理解する。さらに周産期医療において起こりうる医療事故を概観し、リスクマネジメントのあり方についても学修する。具体的には、助産業務と管理、助産所における管理、病院における管理、診療所における管理、医療事故とリスクマネジメントおよび管理の実際に関する事例について学ぶ。
--

・教育成果(アウトカム)

助産業務における管理の基本を学習することで、病院や助産所等における管理の実際やリスクマネジメントの方法を理解し、妊産婦と家族を中心とした助産ケアを提供するための管理方法について考察することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】 本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。	
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。
8	コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。

・到達目標(SB0)

1. 助産業務における管理の基本を説明することができる。 2. 病院、助産所等における助産管理の実際を知り、その内容と課題を説明することができる。 3. 妊産婦への災害時対応と防災対策の基本について説明することができる。 4. 周産期医療および助産ケアにおけるリスクマネジメントの基本について説明することができる。
--

・授業日程

【講義】		会場：マルチ3-A実習室
月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/20 月 3限	【授業内容】助産業務と管理 ・助産師の法的責任と義務について説明できる ・助産業務に関わる診療報酬と各種費用の基本およびその動向について説明できる ・周産期医療体制について説明できる 【関連する到達目標(SB0)】1 【事前学修:90分】教科書の助産業務と管理に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】助産業務と管理の要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/20 月 4限	【授業内容】病院(総合周産期母子医療センター)における管理の実際 ・病院(総合周産期母子医療センター)における助産管理の実際を理解できる 【関連する到達目標(SB0)】2 【事前学修:90分】教科書の病院における管理に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】病院における助産管理の実際について要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/21 火 3限	【授業内容】産科病棟の管理 / 院内助産と助産師外来(グループワーク) ・産科病棟における混合化の現状について、学生間のディスカッションを通じて理解できる ・院内助産と助産師外来の実際について理解できる 【関連する到達目標(SB0)】2 【事前学修:90分】教科書の産科病棟の管理および院内助産と助産師外来に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】産科病棟の混合化、院内助産と助産師外来について要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授

10/21 火 4限	【授業内容】医療機関における災害対応(グループワーク) ・産科病棟における災害対応について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる 【関連する到達目標(SBO)】 3 【事前学修:90分】 教科書の医療機関における災害対応に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】 産科病棟における災害対応について要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/22 水 3限	【授業内容】避難所における災害対応(グループワーク) / 妊産婦に対する防災教育 ・避難所における母子や女性に配慮した対応の実際について、学生間のディスカッションを通じて理解することができる ・妊産婦に対する防災対策のあり方を考察しながら、防災教育を立案することができる 【関連する到達目標(SBO)】 3 【事前学修:90分】 教科書の避難所における災害対応に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】 避難所における母子や女性に配慮した災害対応および妊産婦に対する防災教育について要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/22 水 4限	【授業内容】医療事故とリスクマネジメント / 助産業務と関係法規 ・周産期領域で起こりうる医療事故とリスクマネジメントの実際について説明できる ・助産業務に関する主な関係法規について理解できる 【関連する到達目標(SBO)】 1、4 【事前学修:90分】 教科書の医療事故とリスクマネジメントおよび助産業務と関連法規に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】 周産期領域におけるリスクマネジメントおよび助産業務に関する主な関係法規について要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/24 金 3限	【授業内容】助産所における管理の実際①(グループワーク) ・助産所の管理・運営について学生間のディスカッションを通じて説明できる 【関連する到達目標(SBO)】 2 【事前学修:90分】 教科書の助産所における管理に該当する部分について予習する 【事後学修:90分】 出産場所に関する妊産婦のニーズとそれに応える助産師の役割および助産所の管理・運営について要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授
10/24 金 4限	【授業内容】助産所における管理の実際②(グループワーク) ・助産所における助産管理の実際について学生間のディスカッションを通じて理解できる ・助産所の管理に関連する法規について説明できる 【関連する到達目標(SBO)】 2 【事前学修:90分】 教科書の助産所における管理に該当する部分について予習する 【事後学修:390分】 助産所の助産管理の実際と関連法規について要点をまとめる さらに、全講義内容についてすべての配布資料と教科書該当ページを読み返し、要点をまとめる	成育看護学講座 蛸崎 奈津子 教授

・教科書・参考書等

		教:教科書	参:参考書	推:推薦図書
	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	助産学講座10 助産管理 第6版	我部山キヨ子	医学書院	2022

・成績評価方法

【総括的評価】 グループワークへの取組状況85%、課題15%にて評価する。なお、グループワークへの取組状況は、主体的・積極的態度・グループメンバーとの意見交換・学び合いの状況を含む。課題については、内容の適切性および実現可能性を評価視点とする。
【形成的評価】 講義ごとに対話・質疑応答等で理解度を確認し、要点の振り返りやフィードバックを行う。

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】 レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。
【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】 助産師(別表2):助産管理
【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】 当該科目に関連する実務経験の有無 有 分娩取扱医療機関等における助産師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター(VPL-FWZ60)	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ(P-100)	1	講義用資料投影